

2013 地物 3 年 履修科目のススメ

単位取得のしやすさ ◎ > ○ > △ > ×

●夏学期

—地球流体力学 1 (伊賀先生) △・出席+期末 追レポあり

全出席しても、試験でコケると、追レポの対象者になる。追レポもきちんと全問解かないと単位が来ない。ここで流体理解しないと、あとあと困ると思われるが...

—弾性体力学(竹内先生) ○・出席+期末 追レポなし

P波・S波の導出・震源の記述くらいまで。とっつきにくい。ちなみにではあるが、ノートは div が最後にアップされる。地物 2012 のページにアップされているので、ノートは誰かに借りなくてもおけ。

—量子力学 2(濱口先生) ○・期末 追レポあり

去年度より担当されているので、過去問は 1 つしかないが、期末試験は基本的なことしか聞かれない。ただし、量子力学 2 自体が難しい。

—太陽地球系物理学(岩上先生) ◎・ほぼ出席

地物概論で習っているので、勝手は分かると思うが、岩上先生の分の成績は毎回の小テストのみで決まる。吉川先生に関しては、昨年は、期末レポートはなく、毎回の授業で出されるミニレポート(当日中締切)のみであった。どちらの先生であっても、授業に出ないと成績は期待できないが、3-4 回しか出席していなくても単位が来ていた ...^^;

—固体地球科学(小澤先生) ○・出席+期末

試験があまりにできないと、単位を落とすが、無難に出席・期末を受ければ問題なし。ひたすらパワポのため、寝てしまう人が続出していたが、固体系に進む人は、絶対に聞いておいた方がいい。

—大気海洋循環学(中村先生) ○・出席+期末

大学院との共通科目のため、ものすごい人数が受ける。

※冬学期の実験について

地物 3 年は月・水・木曜の午後が演習・実験の曜日になっている。

夏学期の計算機演習は、遅くとも 16:20 までには終わるはず。(先生が変わったので、何とも言えないが)

冬学期の実験の終了時刻は、テーマごとに異なり、電気回路の 19-20 時から、分光の 15 時、そのほかはだいたい 17-18 時ごろに終わる。駒場の実験と違い、概ね班単位での行動なので、あらかじめどんなに頑張っても早く終わることはない。部活・バイトを入れるときは要注意。